

# 氷点下の中開催された第一回「富士山花火」

雪化粧の富士山を背景に約5,000発の花火が打ち上がる

## 来年以降も富士山を囲む各市町村で開催予定

第一回は12月18日(土) 裾野市内「遊園地ぐりんぱ」にて | <https://fujisanhanabi.com/>

富士山花火実行委員会は、2021年12月18日(土)に第一回「富士山花火」を開催しました。当日は天気恵まれ、冠雪の富士山を約5,000発の花火が彩りました。氷点下の中で行われた花火大会でしたが、国内屈指の花火師が集結した花火大会と富士山のコラボレーションに感動の声が集まりました。



### 「富士山花火」について

本花火大会の舞台は、世界遺産であり、日本最大の文化資源である「富士山」。観覧エリアは静岡県裾野市、富士山南麓二合目にある「遊園地ぐりんぱ」で行われました。

花火の製作は、静岡県が誇る国内屈指の花火企業イケブunに加えて、多数の優勝/受賞歴を持ち名実ともに国内最高峰の花火企業である野村花火工業、驚愕の演出で観客を魅了する片貝煙火工業が担当。雪化粧の富士山を背景に大輪の花火が開く、他に類を見ない大迫力の花火大会となりました。

本大会は広大な敷地内にソーシャルディスタンスを十分に確保した限定約4,500席で開催。観覧エリアが遊園地であることを生かした鑑賞チケットや、自家用車から花火を観覧できるドライブイン花火のチケットなど、人との接触を最小限に抑えたプランを用意しました。安心して花火をお楽しみいただける、withコロナ時代の新しい形の花火大会となりました。

本花火大会は、富士山を囲む各市町村と連携し、毎年リレー形式での開催を目指します。来年度以降は富士山を囲む山梨・静岡の各市町村を巡ります。

## 第一回「富士山花火」の様子

当日は全国的に寒波に見舞われた日でしたが、満月に近い日で会場は気持ちのいい晴れ。澄んだ冬の空気に雪化粧の富士山が映える天気でした。お客さまが会場に入場すると、キャンプファイヤーで身体を温めたり、DJブースで音楽に身を任せたり、キッチンカーで温かい軽食や飲み物を購入したり、打ち上げまでの時間をそれぞれ楽しまれたようです。

富士山が夕焼けに染まる16時半頃、和太鼓の演奏から「富士山花火」のプログラムがスタート。一幕の野村花火工業の壮大な一発目が打ち上げられた瞬間、お客さまからは感嘆の声が上がりました。全六幕の構成で、音楽に合わせて花火があがるミュージック花火や、富士の霊峰に日本の安寧を願う奉納花火、大輪の10号玉が打ち上げられました。国内屈指の花火企業3社がそれぞれの持ち味を活かした美しい花火を披露しました。

会場の気温は打ち上げ前から0度を下回る極寒の花火大会となりましたが、多くのお客さまが、家族や友人、恋人など、大切な人と身を寄せ合いながら花火をご覧いただいたようです。

エキサイティングエリアからご覧になったお客様からは、真上に打ち上がる花火に「火の粉が落ちてくるかと思うくらい超至近距離で見られた」「エキサイティングの意味を知った」という声をいただきました。そのほかにも「極寒だったけど行ってよかった」「感動した」「花火を見ていると、大切な人を思い出しました」などの声が集まりました。



### <当日のプログラム>

#### 花火一幕 | 野村花火工業

##### 一〇八の響き～黄昏時に富士のすそ野に浮かぶ108の光～

日没前の黄昏時に富士山のシルエットを背景に108発の花火を一発一発丁寧に打ち上げます。夜空に星がきらめく前に、祭りの始まりを告げる花火。

#### 花火二幕 | イケブン

##### 「火」 ignis 「大地」 terra

花火打ち上げエリア全域を使った大掛かりな花火。「火」「大地」をテーマに音楽に合わせて花火が宙を踊ります。

#### 花火三幕 | 片貝煙火工業

##### 富士の霊峰に日本の安寧を願う（奉納花火）

奉納花火で有名な片貝花火が、霊峰富士山に祈りを込めて打ち上げるスターマインは静寂の中、想いのこもった花火で富士の夜空を染め上げます。

#### 花火四幕 | イケブン

##### 「光」 lux 「愛」 amare

静岡が誇る花火会社イケブンが繰り広げる音と光の饗宴。「光」と「愛」をテーマに、イケブンが日本一の技巧を凝らし贈る感動の20分間。

#### 花火五幕 | 野村花火工業

##### 一つ一つの美しさが人々の心の記憶に…

明治8年より続く老舗の野村花火工業の最新の花火作品集をお届けします。本イベント最大サイズの10号花火を打ち上げます。

#### 花火六幕 | イケブン

##### 「水」 aqua 「未来へ」 futurum

終宴に向けて暗闇に眩く輝く花火はこれからの未来への方角を指し示すかのように。壮大なフィナーレを飾ります。

- 名称： **富士山花火**  
※本イベントの一部は文化庁「ウイズコロナに対応した文化資源の高付加価値化促進事業」採択事業です。
  
- 開催日時： 2021年12月18日(土)
  - ・ 開場：遊園地エリア13:00 ドライブインエリア13:00
  - ・ 開演：16:30 終演18:00
  
- 開催場所： 裾野市内「遊園地ぐりんぱ」（富士山二合目に位置）  
〒410-1231 静岡県裾野市須山字藤原2427  
<http://www.grinpa.com>
  
- 公式HP： <https://fujisanhanabi.com/>
  
- 公式SNS： Twitter <https://twitter.com/fujisanhanabi>  
Instagram <https://www.instagram.com/fujisanhanabi/>  
Facebook <https://www.facebook.com/fujisanhanabi>
  
- 打ち上げ数： 約5,000発 最大10号玉
  
- 観覧席： 約4,500席／全席有料
  
- チケット： エキサイティングエリア ¥14,000～  
ドライブインエリア ¥30,000  
ぐりんぱ自由席 大人¥8,000／子ども¥5,000  
※詳細は公式HPをご覧ください。
  
- 主催： 富士山花火実行委員会（株式会社イケブン、株式会社フロンティアインターナショナル、一般社団法人伝統文化継承推進協会、演出：David J. Production Co., Ltd.）
  
- 後援： 裾野市
  
- 協賛： アソビュー株式会社 <https://www.asoview.co.jp/>
  
- 協力： 富士急行株式会社、富士急トラベル株式会社、株式会社ピカ、住友理工株式会社 富士裾野製作所、一般社団法人 裾野市観光協会

花火製作を担うのは、静岡に本社を置く国内屈指の花火企業イケブンに加えて、多数の優勝/受賞歴を持ち名実ともに国内最高峰の花火企業である野村花火工業、驚愕の演出で観客を魅了する片貝煙火工業が担います。日本が誇る花火師たちが集結し雪化粧の富士山に大輪の花火を咲かせる、夢のような一夜になります。

## 株式会社イケブン

～製造から演出まで花火の全てをプロデュース。静岡が誇る花火の総合商社～

全国から選ばれた28業者のみが参加できる、全国花火競技大会「大曲の花火」の第89回大会で最高栄誉の「内閣総理大臣賞」を受賞。これは静岡県の煙火業者でも初めての快挙となった。

また、同年(2016年)長崎県ハウステンボスにて開催された「第8回世界花火師競技大会」においても優勝。初出場ながらも世界一に輝く。その他数々の花火大会において最優秀賞を獲得している。

花火×音楽をシンクロさせる「デジタルスターマイン」を20年前から導入。最先端の花火シミュレーションソフトを使い、打ち上げシーンのシミュレーションを事前に行うことで、より満足できる演出を再現させている。

難易度の高い「時間差花火」の演出で高い評価を得ている。

2018年にお台場海浜公園にて開催した、世界最高峰の花火師たちが集結する“東京花火大祭～EDOMODE～”にも参加し好評を博した。

イケブン公式サイト <https://www.ikebun.com/>



## 野村花火工業株式会社

茨城県水戸市にて明治8年の創業以来、芸術生を重視した美しい花火を研究、製造。代表取締役野村陽一は新しい発想と圧倒的な技術力で五感に訴える花火づくりに挑戦、平成18年夏、五重の同心円を描く複雑な「五重芯」を世界で初めて成功させ、平成25年「現代の名工」に選出される。大曲や土浦など各地の全国花火競技大会で総合優勝、花火業界で最も栄誉ある内閣総理大臣賞の受賞は19回を数える。名実ともに日本最高峰の花火企業。野村花火工業の匠の技が詰め込まれた珠玉の尺玉を富士山花火で披露する。

野村花火工業 公式サイト <https://nomurahanabi.jp/>



## 有限会社片貝煙火工業

新潟県小千谷市片貝町の伝統ある花火を継承し安全性第一に煙火の製造打揚げを行う片貝煙火工業は、例年9月9日/10日に行われる浅原神社秋季例大祭奉納煙火（片貝まつり）にて四尺玉（約直径120センチ）や人々の祈りが込められた奉納煙火を打揚げている。ぎおん柏崎まつり海の大花火大会では尺玉100発一斉同時打ち、海空中煙火等の演出で観客を虜にしている。富士山花火ではスターメイン奉納煙火を披露する。

片貝煙火工業 公式サイト <http://www.katakai-enka.co.jp/>

片貝まつり 公式サイト <https://katakaimachi->

[enkakayokai.info/enka\\_info.html#hounouenka](http://enkakayokai.info/enka_info.html#hounouenka)



### 瀬尾 浩司 (HIROSHI SEO)

広島県福山市出身。京都精華大学デザイン科卒業後、日本を代表する写真家・植田正治に師事。2000年よりフリーの写真家として広告・ファッション・雑誌などの分野で活動しながら、日本製鉄、星のや、太陽有限責任監査法人など、企業やブランドのイメージ制作も手がける。また、東京都写真美術館、植田正治写真美術館、新津美術館、高松市美術館などでのワークショップや、銀塩写真技術や機材、フィルム、印画紙等を守る【ゼラチンシルバーセッション】への参加を通じ、写真技術の継承にも貢献。2017年より日本の伝統である華道・茶道・武道など様々なジャンルの家元を撮影した「Oiemoto」シリーズを制作。2019年には同シリーズがヨーロッパ・東京・アメリカ・カナダを巡回。2020年にはコロナ禍で見た世界の新しいあり方を映し出した新作「BEYOND」の制作をスタート。2021年秋、能楽の名門・宝生流とコラボレーションした展覧会を宝生能楽堂で開催し話題を呼んだ。

公式HP：<http://hiroshiseo.com>

Instagram：[https://www.instagram.com/seo\\_hiroshi\\_](https://www.instagram.com/seo_hiroshi_)

スチル撮影サポートスタッフ：上田 龍太郎、上田 瑞子、上田 悠平、斎藤 将

